



## 心臓カテーテル検査(2泊3日)を受けられる患者さまへ



主治医:

看護師:

	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	入院・検査前日		検査当日	
	検査前	合併症(出血)なく経過する	検査後	検査後1日目・退院日
処置 薬剤	<p>□必要に応じ、点滴を開始します。 □カテーテルを入れる部位を毛ぞりします □お薬手帳を持参してください。 □入院中は、病院から内服を処方します。</p> 	<p>□寝衣をガウンタイプに着替えます。 □検査の前に点滴を始めます。 □薬は、( )時に、少量の水で飲んでください。 □中止する薬は(あります・ありません) ⇒中止する薬( ) □検査に降りる前に、安定剤の内服があります。</p>	<p>□点滴を継続します。点滴終了後も、翌日の朝までは点滴ラインを残しておくことがあります。 □時間ごとに血圧や脈拍の測定、カテーテルを入れた部位の観察を実施していきます。</p> 	<p>□点滴を抜きます。 □圧迫用のバンドを外していない場合は午前中医師が外します。 □必要時、退院処方があります。</p>  <p><b>なんでも ご相談 下さい</b></p>
検査	□必要時、心電図・レントゲン・血圧脈波・採血などの検査があります。	□検査は( )時頃からです。		
活動 安静度 保清	<p>□病院内は、自由です □病棟外に出られるときは、看護師に声掛けをして下さい。 □シャワー浴をしてください。</p>	<p>□検査までは、なるべく安静にしましょう。 □カテーテル検査室(2階)までは車椅子またはストレッチャーで移動します。 □検査前に排泄を済ませるようにしましょう。 □必要時、尿道カテーテルを入れます。</p> 	<p><b>【足の付け根から検査を受ける場合】</b> □検査当日、シャワーはできません。  □検査前：尿道カテーテルを入れます。 □検査後：足を曲げると出血の危険性があるため、ご自分で体を動かしたりできません。主治医の許可があるまで、約6時間ベッド上安静となります。  □安静度に応じて、排泄はベッド上になります。</p> 	<p>□医師の指導のもと安静度が変わりますので、指示に従って下さい。  □シャワー浴可能です。 □穿刺部位は、やさしく洗浄してください。</p> <p><b>退院 おめでとうございます</b></p>
食事	<p>□治療食が出ます。 □夕食後は間食を控えて下さい。</p>	<p>□午前の検査の場合 朝食が欠食です。 □午後の検査の場合 昼食が欠食です。 □お水を飲むことも、食事を摂ることもできません。</p>	<p>□検査後は水分摂取や食事ができます。 □帰室後6時間は椅子に座っての食事やトイレまで歩くことはできません。 必要時、食事介助を行います。</p>	<p>□可能な限り、治療食内容を継続してください。</p>
患者様 及び ご家族への 説明	<p>□医師より検査について説明があります。 □心臓カテーテル検査の同意書を確認します。 □入院や検査のオリエンテーションを行います。 □入院診療計画書をお渡しします。 □転倒・転落チェックを行います。</p>	<p>□家族の方は、検査までにお越しください。 検査中・検査後も病室または病棟談話室で待機してください。 □検査前に貴重品や義歯は必ず取り外し、ご家族へ預けるようにしてください。</p> 	<p>□カテーテルを入れた部位の痛みやしづれがあれば連絡して下さい。</p> 	<p><b>《退院について・注意事項》</b> □退院時に次回外来の予約票と診察券をお渡しします。 □退院は10時頃になります。 □入院費用説明は担当が案内にきますので、部屋でお待ちください。 加入保険により多少の差額がありますのでご了承ください。 □看護師より退院処方、次回外来の説明や他病院宛ての診療情報提供書の手渡しがあります。 □退院後の注意点の説明を行います。 カテーテルを入れた部位からの出血・腫れ・痛みがあれば、救急外来へ連絡後、救急受診をしてください。</p>
入院時の 必要物品	<p>□検査に必要な物品の説明を行います。            ①フィットショーツ (必要時)            ②ストロー、カップ 1個 *院内ローソンで購入できます             *保険、診断書等の書類は2階の診断書受付窓口へ提出してください</p> 			<p>琉球大学病院 9階東第3内科病棟 連絡先: 098-895-3331 (代) 内線3901 *平日は内科外来へ連絡してください。</p>



冠動脈ステント留置術（2泊3日）を受けられる患者さまへ



主治医

受け持ち看護師

目標	月 日	月 日	月 日	
	入院・治療前日	治療前	治療後	退院日 治療後1日目
	合併症（出血）なく経過する			退院後の日常生活の注意点について理解することができる
処置 薬剤	<p>□必要に応じ、点滴を開始します。 □カテーテルを入れる部位を毛ぞりします。  □お薬手帳を持参してください。 □入院中は、病院から内服を処方します。</p> 	<p>□寝衣をガウンタイプに着替えます。 □治療の前に点滴を始めます。  □薬は、（　　）時に、少量の水で飲んでください。 □中止する薬は（あります・ありません） ⇒中止する薬（　　）  □治療に降りる前に、安定剤の内服があります。</p>	<p>□点滴を継続します。点滴終了後も、翌日の朝までは点滴ラインを残しておきます。  □時間ごとに血圧や脈拍の測定、カテーテルを入れた部位の観察を実施していきます。</p> 	<p>□点滴を抜きます。 □尿道カテーテルが入っている際は外します □通常通りに内服をしてください。 □圧迫用のバンドを外していない場合は午前中医師が外します。 □必要時、退院処方があります。</p> <p><b>なんでも ご相談 下さい</b></p> 
検査	<p>□必要時、心電図・レントゲン・血圧脈波・採血などの検査があります。</p>	<p>□治療は（　　）時頃からです。</p>	<p>□検査（治療）後、お部屋で心電図モニターを装着します。24時間装着する予定です。</p>	<p>□必要時、検査を行います。</p>
活動 安静度 保清	<p>□病院内歩行は、自由です。  □病棟外に出られるときは、看護師に声掛けをして下さい。  □シャワー浴を行ってください。</p>	<p>□治療までは、なるべく安静にしましょう。  □カテーテル検査室（2階）までは車椅子またはストレッチャーで移動します。  □治療前に排泄を済ませるようにしましょう。  □必要時、尿道カテーテルを入れます。</p> 	<p><b>【足の付け根から治療を受ける場合】</b> □治療前：尿道カテーテルを入れます。 □治療後：足を曲げると出血の危険性があるため、ご自分で体を動かしたりできません。 主治医の許可があるまで、約6時間ベッド上安静となります。  □安静度に応じて、排泄はベッド上になります。  □治療当日、シャワーはできません。</p>	<p>□医師の指導のもと安静度が変わりますので、指示に従って下さい  □シャワー浴可能です。 □穿刺部位は、やさしく洗浄してください。</p> <p><b>退院 おめで ございます</b></p>
食事	<p>□治療食が出ます。 □夕食後は間食を控えて下さい。</p>	<p>□<b>午前の治療の場合 朝食が欠食です。</b> □<b>午後の治療の場合 夕食が欠食です。</b> □お水を飲むことも、食事を摂ることもできません</p>	<p>□治療後は水分摂取や食事ができます。  □帰室後6時間は椅子に座って食事をしたり、トイレまで歩くことはできません。</p>	<p>□通常通りに食事摂取できます。 □可能な限り、治療食内容を継続してください。</p>
患者様 及び ご家族への 説明	<p>□医師より検査・治療について説明があります。 □心臓カテーテル検査・治療の同意書を確認します □入院や検査のオリエンテーションを行います。 □入院診療計画書をお渡しします。 □転倒・転落チェックを行います。</p>	<p>□家族の方は、治療開始までにお越しください。 治療中・治療後も病室または病棟談話室で待機してください。  □治療前に貴重品や義歯は必ず取り外し、ご家族へ預けるようにしてください。</p> 	<p>□カテーテルを入れた部位の痛みやしびれがあれば連絡して下さい。  □治療終了後、ナースステーションに近い部屋にルーム移動することができます。 翌日には元のお部屋に戻ります。</p> 	<p><b>《退院について・注意事項》</b> □退院時に次回外来の予約票と診察券をお渡しします。 □退院は10時頃になります。  □入院費用説明は担当がりますので、部屋でお待ちください。入院費は加入保険により差額がありますのでご了承ください。  □看護師より退院処方、次回外来の説明や他病院宛ての診療情報提供書の手渡しがあります。  □退院後の注意点の説明を行います。 カテーテルを入れた部位からの出血・腫れ・痛みがあれば、救急外来連絡後、救急受診してください。</p>
入院時の 必要な物品	<p>□治療に必要な物品の説明を行います。 ①フィットショーツ（必要時） ②ストロー、コップ 1個 *院内3階ローソンで購入できます</p> <p>*保険、診断書等の書類は2階の診断書受付窓口へ提出してください</p>			<p>琉球大学病院 9階東第3内科病棟 連絡先：098-895-3331（代） 内線3901 *平日は内科外来へ連絡してください。</p>